



越前市教育委員会様

## USBメモリーを一時的に禁止するより、安全な製品と環境を提供。セキュリティ、使い勝手、運用性でバッファローを選択

今回伺った福井県越前市は、「源氏物語千年」記念事業でいま脚光を浴びており、「源氏物語」の作者 紫式部が、若い頃を過ごした土地でもあります。

さて、USBメモリーは情報漏洩の危険性が大きいとして、使用を禁止している企業や団体が多くあります。反面、禁止としていても、隠れて利用するケースが多いのも事実。そこで、越前市教育委員会では、USBメモリーの使用を一時的に禁止するのではなく、実際の業務運用にあわせた対策をとることにしました。そこで採用されたのが、自動暗号化によるセキュリティ、優れた操作性、ヘルプデスクによる運用性などから、バッファロー 全自動暗号化機能搭載セキュリティUSBメモリー「RUF2-HSC1GW」でした。

詳しいお話を伺いに越前市教育委員会を訪問し、セキュリティについての考え方や具体的な施策についてお聞きしました。

### 生活に溶け込むICTの推進

一越前市教育委員会ではどのようなICT教育を進めていますか？  
特に他の地域と比べて突出した活動をしているわけではではありませんが、考え方としては、単に「モノを導入すること」を目的とした活動はしていません。授業や学校生活に役立つかどうか検討した上で、ICTを導入しています。

一具体的にはどのようなことでしょうか。

例えば、市内の中学校で利用されている「スクールランチ」。生徒の発注から業者の給食受け渡しまで給食業務の運用の仕組みの中にICTを組み込み、現在はICTツールを特に意識することなく、当たり前のように利用されています。

また、学校と保護者をつなぐ緊急メールシステムを構築しました。事件や事故につながりかねない、地域に危険な状況が起こった際に、登録された保護者に一斉にメールが送信されます。

このように、パソコンを何台入れたとか、ネットワークを構築したとか、「モノ」を揃える導入ではなく、実際の業務運用と有機的に結びつけ、生活の中に溶け込ませてICTツールを活用しています。



越前市教育委員会 事務局 学校教育課 参事・指導主事 ウオタニ ミツヒロ 魚谷 充裕 氏



越前市教育委員会 事務局 学校教育課 指導主事 ミタムラ マサト 三田村 雅人氏

### ポイント

- ・USBメモリーの使用を一時的に禁止しない
- ・USBメモリーの利便性を考慮して、セキュアな製品と環境を提供
- ・セキュリティ、使い勝手、運用性から各社USBメモリーを検証
- ・現状で最も理想的な製品としてバッファローを選択し、市内小中学校に推奨品として斡旋
- ・自動的に高度な暗号化が行われて、パスワードを知らない人間は中身を確認不能
- ・集中管理やパソコン側に専用ソフトのインストールが不要など、優れた運用性も認められる

### 全市をあげた子どもの情報を守る取組み

一セキュリティへの取組みはいかがでしょうか？

以前は、現場の運用にまかせていましたが、2007年に教育の情報化のためのコンピューター整備事業を行い、セキュリティ上でリスクが高いと考えられた、私有パソコンの持ち込みを禁止しました。

一持ち込みパソコン禁止は抵抗ありませんでしたか？

もちろん一方的に禁止したわけではありません。代わりに、教職員に1人1台のパソコンを支給しました。また以前から、講習会を開催するなどして、越前市の教職員のセキュリティ意識が高い事もあり、抵抗というものはありませんでした。

それまで使っていた私有パソコンを先生方が自主的に持ち寄り、ハードディスクのデータを完全に消去する取組みとして「リストア作業会」も実施しました。パソコンを初期化してデータを完全に削除したり、ハードディスクを取り外して穴を空けるなど、パソコン自体を壊してしまっただけで済ませる先生も多かったです。

いずれも、教育委員会、学校及び市長部局情報担当課が協力し実施してきました。



越前市教育委員会 事務局 学校教育課 コロド ヒロアキ 神門 弘明 氏

### USBメモリーの安全な使い方を検討

一USBメモリーに関してはいかがですか？

USBメモリーは情報の移動媒体として、大変便利です。ただ、手軽さから、情報漏えいの危険性があります。そこで持ち込みパソコンに続いて、急務となるのはUSBメモリーの使い方だと考え、対策を急ぎました。

一どのような対策をとられましたか？

一方的に禁止するのが最も簡単です。パソコンは教育委員会から配布しているわけですから、USBポートを利用できなくすることも技術的に可能です。しかし、実際には業務の一環として、USBメモリーを利用することがあると想定しています。

そこで、業務上の、データの校外持ち出しに対して、いかに安全な環境を提供するかを検討しました。

### USBメモリーに期待する条件

一安全な環境を提供するには……

セキュリティUSBメモリーについて、一番の問題は、セキュリティ機能がなくても、利用者に使われないことです。USBメモリーの利便性は分かっていたので、以前からUSBメモリーの安全性と運用性に特に注目してきました。新しい製品が出る度にチェックして、セキュアかどうか、使いやすさかどうかなどを検証してきました。

特に運用面で、使い勝手が悪かったり、パスワードを忘れた場合に中のデータが取り出せなくなったりした場合に、USBメモリーのセキュリティ機能は利用されなくなります。

両立しているUSBメモリーを他に私は知りません。

### セキュリティUSBメモリーを小中学校に斡旋

一そこで、このUSBメモリーを標準指定品として市内小中学校に斡旋したわけですか？

もちろん現場の小中学校に受け入れられることが、最も重要です。そこで、既存のヘルプデスクを窓口とし、セキュリティUSBメモリーをツールとして組み込んだ使いやすい仕組みを提案しました。

一どのような斡旋方法をしたのでしょうか？

平成19(2007)年度末に、学校関係者を集めてUSBメモリーの危険性とその対策としてセキュリティUSBメモリーを利用した運用の仕組みを提案し、共同購入を勧めました。その結果、学校関係者のセキュリティに関する意識にも変化がありました。これまで、何となく曖昧にしてきたり、「USBメモリーは使ってはいけない」と言うだけだったことを、今では、業務環境として整備することによって、情報を組織的に管理し、漏洩のリスクを低減する体制をとることが必要であるという考え方に変わってきています。そういう点でも、このセキュリティUSBメモリーの存在は大きかったと考えています。

そして、多くの学校が呼びかけに応じて、それぞれの学校で、業務上必要とする本数を購入していただきました。

使用方は基本的には現場の小中学校にまかせています。ある小学校ではUSBメモリーを移動媒体としてではなく、機密情報専門の外付けハードディスクとして活用している例もあります。

一機密情報専門の外付けハードディスクとはどういう感じでしょうか？

使用方は基本的には現場の小中学校にまかせています。ある小学校ではUSBメモリーを移動媒体としてではなく、機密情報専門の外付けハードディスクとして使っています。機密情報はサーバーに保存していますが、保存できないときにはパソコン内のハードディスクではなく、USBメモリーに保存しており、いわばUSBメモリーは機密情報の金庫代わりに使っています。

このUSBメモリー製品はコストの面からも大変魅力的で、小中学校には大変喜んでいただきました。この様な共同購入の斡旋は今後も続けていくつもりです。

### ヘルプデスクと連携してセキュリティ管理

操作ミスで誤ってロック状態に……



「Pinコード解除」ボタンで生成された識別コードをヘルプデスクまで連絡。

解除用コードを生成後に、折り返し学校まで連絡することで本人確認を行い、解除コードを連絡。

ロックが解除され、再びパスワードの入力が可能になります

一希望するUSBメモリーの条件はどのようなものでしたか？

1つ目は、セキュリティ強度が高い事です。自動的に暗号化するなど、万一紛失した際にも情報漏えいを防ぐことが望ましいと考えました。

2つ目は、使い勝手が良い事です。セキュリティのために利用者が行う操作が増えたり煩雑だったりすると、セキュリティ機能は利用されなくなります。

3つ目は、運用が容易な事です。USBメモリーを利用するパソコンに特殊なソフトのインストールが不要であることや、ユーザ権限での利用が可能なこと。また、利用者と管理者を分けて、パスワード忘れに対して利用者に安心感を持ってもらうのと同時に、実際に忘れた場合に、どこかにUSBメモリーを郵送するなどの手間が発生しない事が、実務上で必要です。

### 3つの条件をクリアしたバッファローのセキュリティUSBメモリー

一今回のUSBメモリーがこれら3つの条件をクリアしたのですか？

そのとおりです。やっとならぬ理想とする、USBメモリーに出会うことができました。自動暗号化USBメモリーは多いのですが、このUSBメモリーは運用面でも優れています。パソコン側に専用ソフトウェアのインストールが不要で、配布したらすぐに利用することができます。

一運用の負荷が軽減されるわけですね。

初期設定で配布するなど集中管理も可能です。越前市では数回パスワードを間違え、ロックされる仕様になっています。これは配布しているパソコンも同じです。管理ソフト(SecureLock Manager)も使い勝手がよく、集中管理に適しています。

また、USBメモリーのパスワードを数回間違えてパスワード入力ができなくなっても、ヘルプデスクに電話することで、ロック解除用の番号を学校経由で連絡できるようにしています。このロック解除番号を入力することで、現場でパスワードのロックを解除できるという機能は大変評価しています。また、パスワードがわからなくなってしまうとしても、ヘルプデスクでパスワードのみ初期化するということができます。このUSBメモリーは、パスワードを入力ミスしても強制初期化せずに済み、保存データがそのまま、また利用できるの、先生方に安心して働めることができます。

いろいろな製品を評価してきましたが、このようにセキュリティと使い勝手の良さを